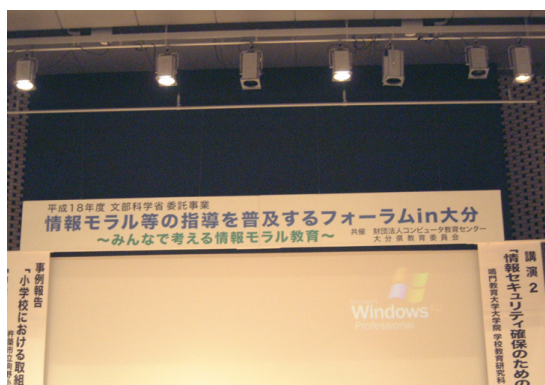


大分県

日時	平成 19 年 1 月 18 日
開催場所	別府市ビーコンプラザ
参加人数	449 人
フォーラム名	情報モラル等の指導を普及するフォーラム in 大分 ーみんなで考える情報モラル教育ー
フォーラムの狙い	<p>近年、インターネット等の情報手段の急速な普及は、私たちの生活を豊かにする反面、利用者のモラル等に起因したトラブルが発生している。児童生徒の情報メディアを活用することで生じる各種トラブルの防止については、本人が、日常生活で求められるモラルに加え、情報の受信や発信において高い判断力や責任能力を身に付ける必要がある。</p> <p>また、児童生徒がトラブルに巻き込まれた際に素早く対処するためには、教職員や保護者が、情報に対する判断力や情報管理能力を高めることが重要である。</p> <p>参加者が、これらの課題に対して学校、家庭、地域の果たす役割について考え、情報モラルに対する意識を高めるため、本フォーラムを実施する。</p>
1 部 講演	上越教育大学 学校教育総合研究センター教授 南部 昌敏 「子どもたちのインターネット等の利用実態と情報モラル教育の基本的な考え方」
2 部 講演	鳴門教育大学大学院 学校教育研究科助教授 藤村 裕一 「情報セキュリティ確保のための校内体制づくり」
事例報告	<p>杵築市立向野小学校教諭 笹置 隆宜 「小学校における取組事例」</p> <p>由布市立庄内中学校教諭 二宮 保秀 「中学校における取組事例」</p> <p>大分県立中津商業高等学校定時制教諭 河野 雅史 「高等学校における取組事例」</p>



<講演の概要>

「子どもたちのインターネット等の利用実態と情報モラル教育の基本的な考え方」

- ・ 子どもたちのインターネット等の利用実態
- ・ 情報モラル教育支援の取り組みと教材等の整備状況
- ・ 情報モラル教育を実践するための手だて
 - (1) 情報モラル教育にメディア・リテラシー教育の学習活動を融合させた学習指導モデル
 - (2) 親子で学ぶ情報モラル学習プログラム
- ・ 情報モラル教育の基本的考え方
- ・ 情報モラルを身に付けさせるための方法～モラルスキルトレーニング～

「情報セキュリティ確保のための校内体制づくり」

- ・ 学校セキュリティの現状と課題
- ・ 学校セキュリティの現状
- ・ 具体的なトラブル事例
- ・ 学校情報セキュリティハンドブック
- ・ 学校の情報セキュリティポリシー
- ・ 学校のリスク対応

「小学校における取組事例」

- ・ 総合的学習の時間での情報モラルの取組
- ・ 情報モラルに関する教材（コンテンツ）の開発と活用
- ・ 授業実践事例

「中学校における取組事例」

- ・ 授業実践報告「電子会話を通してコミュニケーションを考えてみよう」
- ・ 匿名性について考える
- ・ パスワードやIDの重要性を考える
- ・ チャットによるネット犯罪について考える

「高等学校における取組事例」

- ・ 情報モラルのこれまでの取組内容
- ・ 生徒指導と情報モラル
- ・ 情報モラルに関する学校指導体制の確立
- ・ 携帯電話の指導について

<考察>

今回、小、中、高等学校及び盲・聾・養護学校から各校1名の参加を依頼して実施した。各学校で

は、情報モラルの必要性は感じていながら、どのように指導すれば良いか不安に感じている教員が多い。今回のフォーラムでは、多くの実践事例（県内外）の紹介があり、このような教員には大変参考になったと考える。

また、昨年、県内の佐伯市の消防署職員による個人情報の流出事件が、発生した。このよう時期に情報セキュリティについての考え方や予防措置をどのように行うか、学校で具体的に考える良い機会となったと考える。

今後は、各学校や地域で情報モラルや情報セキュリティに関する研修会や協議が盛んになることを期待したい。 次回開催については、配布資料が多かったことを除いて特に課題は無かった。